

# 大阪市における高齢者実態調査

資料3

調査名	調査対象者	目的	客体数
本人調査 (ひとり暮らし調査)	市内に居住する65歳以上高齢者 (無作為抽出)	世帯の状況、日常生活の状況、就労・生きがいの状況、地域活動・社会参加の状況、将来の介護に対する考え方、地域生活の状況、高齢者向けサービスの利用状況と利用意向などの把握し、今後の高齢者施策及び介護保険制度の運営に資する基礎資料を得る。	約18,000件
介護サービス利用者調査	要支援1～要介護5 平成31年1月～3月でサービスを利用した方 (無作為抽出)	介護保険サービスの利用状況と利用意向、介護の状況などを把握し、今後の高齢者施策及び介護保険制度の運営に資する基礎資料を得る。	約5,200件
介護サービス未利用者調査	要支援1～要介護5 平成31年1月～3月でサービスを利用していない方 (無作為抽出)		約5,600件
施設調査	介護老人福祉施設 介護老人保健施設 養護老人ホーム 軽費老人ホーム 生活支援ハウス 認知症高齢者グループホーム 有料老人ホーム サービス付き高齢者向け住宅 (悉皆調査)	入所者の状況や施設の運営状況、サービスの質の向上にあたっての取組み状況などの把握し、今後の高齢者施策及び介護保険制度の運営に資する基礎資料を得る。	平成31年4月1日 時点の施設数
介護支援専門員調査	大阪市内の居宅介護支援事業所に勤務するすべての介護支援専門員 (悉皆調査)	居宅サービス計画並びに介護予防ケアプラン作成時の取組み状況や問題点、ケアプランの評価、他機関との連携状況などを把握し、今後の高齢者施策及び介護保険制度の運営に資する基礎資料を得る。	平成31年4月1日 時点の介護支援専門員

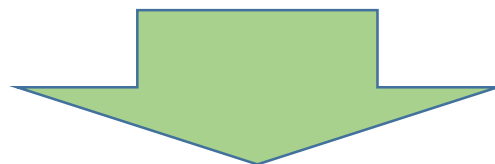
## 第7期計画策定時の実態調査

本人調査  
ひとり暮らし調査

介護サービス  
利用者調査  
未利用者調査

施設調査

介護支援専門員調査



## 第8期計画策定に向けた実態調査

第7期計画策定時の実態調査



介護予防・日常生活圏域  
ニーズ調査  
を実施

## 本人調査・ひとり暮らし調査

### A 住民 生活満足度

#### 既存の調査項目を活用（住民の生活満足度）

Q 次の項目のそれぞれについて「とてもそう思う」から「まったくそう思わない」までの5段階のうち、あなたの気持ちにもっとも近いものを選んでください。

- 1 今の暮らしには張り合いがある  
(まったくそう思わない・あまりそう思わない・どちらともいえない・まあそう思う・とてもそう思う：5段階)
- 2 生活は充実している  
(まったくそう思わない・あまりそう思わない・どちらともいえない・まあそう思う・とてもそう思う：5段階)

#### 追加

Q あなたは、現在どの程度幸せですか  
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください：0～10点)

### C 住民のニーズ調査（住民の普及啓発状況）

#### 追加

Q あなたは希望すれば在宅医療を受けられることを知っていますか？  
(知っている・知らない：2段階)

Q あなたは『アドバンス・ケア・プランニング（ACP：もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い共有する取組）』について知っていますか？  
(名前も内容も知っている・名前は知っているが、内容は知らない・名前も内容も知らない：3段階)

## D 住民のニーズ調査（住民の在宅医療・介護看取りの希望割合）

### 既存の調査項目を活用

Q 万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、終末期（人生の最期）をどこで過ごしたいか。  
なお、必要な医療については、それぞれの場所で受けることができるものとしてお答えください。

（○はひとつ）

自宅

子どもの家・親族の家

高齢者向け住宅

特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの介護施設

病院内に併設される「住まい」の機能を重視した施設

病院などの医療機関

その他

わからない

# 介護支援専門員調査

## B 介護支援専門員（ケアマネジャー） 従事者満足度

### 追加（満足度）

- Q あなたは、ご自身の仕事に満足感を感じていますか  
（感じている・やや感じている・あまり感じていない・感じていない：4段階）

### 追加（連携度）

- Q 貴施設は、地域のお他職種・他機関と、全般的に、どのくらい連携（連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等）できていると思いますか。  
（連携できている・やや連携できている。あまり連携できていない・連携できていない：4段階）

## E 連携に関する介護報酬

### 既存の調査項目を活用

- Q 「入院又は退院・退所する病院・施設と入院時、退院・退所時に連携をとりましたか。」（はい・いいえ）  
→「はい」と答えられた方は、「病院・施設との連携のための加算を請求しましたか。」（はい・いいえ）  
→「はい」と答えられた方は、「加算の種類をお答えください。」（あてはまるものすべてに○）
- 入院時情報提供加算（Ⅰ）
  - 入院時情報提供加算（Ⅱ）
  - 退院・退所加算
- Q 医療機関や施設などから退院や退所する際に困ったことはありましたか。（○はひとつ）  
（はい・いいえ：2段階）

## 相談支援室の認知度

### 追加

Q 大阪市「在宅医療・介護連携相談支援室」についてお伺いします。（1つに○）

知っており、実際に相談・連携したことがある

知っているが、実際に相談・連携をしたことはない

知らなかったが、今後は相談・連携したいと思う

知らなかったし、今後も相談・連携しないと思う 4段階

## サービス担当者会における出席要請に関する方針

### 追加

Q サービス担当者会議における、各職種への出席要請に関する方針

（基本的に出席を求めることにしている・ケースによっては出席を求めることがある・

殆ど出席を求めることはない：3段階）

1 病院の医師

2 病院の看護師

3 診療所の医師

4 歯科医師

5 薬剤師

6 訪問看護師

7 地域包括支援センター

# 介護支援専門員調査

## 連携推進の課題

### 追加

Q 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えることについてお伺いします。

(必要性の高いものから順に3つまで○)

- 1 関係機関のリスト・連絡先等の提供
- 2 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場
- 3 連携で困ったときに相談できる窓口
- 4 各施設・職種の役割について理解を深める機会
- 5 介護側のための医療知識の習得・向上の機会
- 6 医療側のための介護知識の習得・向上の機会
- 7 情報共有ツール（シート等）の統一
- 8 在宅医療にかかる負担の軽減(主治医・副主治医の導入など)
- 9 在宅医療にかかる施設基準の緩和
- 10 診療報酬・介護報酬の評価（増額）
- 11 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発
- 12 その他
- 13 特にない

# 施設調査

## B 介護施設 満足度

### 追加（連携度）

Q 貴施設は、地域の他職種・他機関と、全般的に、どのくらい連携（連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等）できていると思いますか。

（連携できている・やや連携できている・あまり連携できていない・連携できていない：4段階）

### 追加（貢献度）

Q 貴施設は、地域の在宅医療の推進に対して、どのくらい貢献できていると思いますか。

（貢献できている・やや貢献できている・あまり貢献できていない・貢献できていない：4段階）